

## 科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 27 年 5 月 25 日現在

機関番号：33917

研究種目：若手研究(B)

研究期間：2013～2014

課題番号：25780324

研究課題名(和文) 移動産業の成長と「他者」の排除・消費 19世紀在米中国移民を事例として

研究課題名(英文) Influence of Development of U.S. Transportation Industry on International Migration in the Late Nineteenth Century: Social Exclusion and Inclusion of Chinese Immigrants in the United States

研究代表者

大井 由紀(Ooi, Yuki)

南山大学・外国語学部・准教授

研究者番号：10551070

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 1,900,000円

研究成果の概要(和文)：本研究の目標は、19世紀半ばに始まったアメリカにおける越境移動産業のグローバルな展開が、人種・エスニシティにおける「他者」理解や「異質さ」の排除・消費にもたらした影響を考察することである。研究は、太平洋郵便汽船会社をはじめとするアメリカの汽船会社の展開を中心に行った。蒸気船事業が発展を軸として、アメリカからアジアへの海外旅行、世界旅行が始まり、「異質なアジア」の文化消費がはじまったこと、アメリカ国内で開催された世界万博における「アジア」の展示、両者の関連性、そしてアジアからアメリカへ戻る船に多くの移民を乗せてきたことを明らかにした。

研究成果の概要(英文)：The purpose of this research is to examine how the development of transportation system, in particular steamship, beginning in the mid-nineteenth century, influenced American people's understanding, social inclusion and exclusion of Asian immigrants. I conducted research focusing on the development of major steamship companies, such as the Pacific Mail Steamship Company. It revealed 1.) the Pacific Mail Steamship Company pioneered in organizing tours abroad in Asian countries and world tours, which signifies American tourist began to enjoy consuming Asian cultures, 2.) Asian cultures displayed at venues of the World's Fair were consumed by American people, 3.) how 1.) and 2.) are related, 4.) steamships of Pacific Mail Steamship Companies brought a large amount of immigrants from China and Japan to the US on their return.

研究分野：社会学、移民研究、アジア系アメリカ人研究

キーワード：越境移動産業 蒸気船事業 太平洋汽船会社(郵船) 海外旅行 世界コロンビア博覧会

### 1. 研究開始当初の背景

従来の移民研究やアジア系アメリカ人研究では、移民排斥や人種主義という政治的・社会的排除、それに対する移民の側からの対抗やアメリカナイズーションなどが着目されてきたが、移動手段はほとんど注目を集めてこなかった。そこで、19世紀半ば以降のアメリカにおける蒸気船の発達、太平洋航路開設がアジアからアメリカへの越境移動とアメリカにおけるアジア系移民の受容・排斥にどのように影響したのか明らかにすることを目的とし、本研究を開始した。

### 2. 研究の目的

本研究の目的は、経済活動のグローバルな展開が、人種・エスニシティを異にする「他者」の受容と排除にどのように影響してきたか、明らかにすることである。具体的事例として、19世紀後半の中国(当時は清)からアメリカへの移民に着目する。米中間での移民船の定期運航により増加した中国系移民は、エスニシティを基準とした初の移民排斥法の対象とされた一方、中国本土や米国内のチャイナタウンは、白人の国内外の観光という娯楽の空間として消費の対象ともなった。この事例を通して本研究は、移民船や観光という人の移動をめぐる産業の成長とグローバルな展開が、人種・エスニシティにおける「他者」理解及び「異質さ」の排除・消費へ及ぼした影響を考察する。

### 3. 研究の方法

方法は2つに大別される。1つは先行研究の整理であり、太平洋航路開設、世界博覧会に関する日米中の先行研究を収集・整理した。いま一つは、太平洋航路に関する史料収集である。収集はアメリカ議会図書館(ワシントンDC)、アメリカ国立公文書館(ワシントンDC、メリーランド)、アメリカ国立郵便博物館(ワシントンDC) 日本郵船歴史博物館(横浜)で行った。

### 4. 研究成果

研究は、太平洋郵便汽船会社をはじめとするアメリカの汽船会社と日本郵船をはじめとする日本の汽船会社の展開を中心に行った。

「3.研究の方法」で述べた史料収集をもとに、下記の点を明らかにした。

第一に、アメリカ連邦議会で海運事業がどのように論じられたのか整理した。太平洋郵船は、郵便事業の委託を政府から受けたことで、東海岸から西海岸への航路を開拓し、その後カリフォルニアでのゴールドラッシュをきっかけに発展が始まった。連邦政府が西海岸への蒸気船による郵便事業を開始したかった背景には、州に昇格し、人口が増加しつつあった西海岸、とくにオレゴンをいかに統治するか、という問題があった。郵便事業と海運の関係、汽船以外

の郵便・輸送手段(Pony Express や Butterfield Overland Mail)の展開、また蒸気船との競合関係、郵便事業が国内統治でもつ意味を明らかにした。

第二に、アメリカの東西海岸を接続することを目的に設立された太平洋郵船会社が太平洋航路を開設するに至った経緯を明らかにした。陸路の郵便・輸送事業との競合関係や大陸横断鉄道の開設に伴い、大幅な減収を予期した太平洋郵船は、事業の中心を国内航路から環太平洋へ向かう航路へ転換した。アメリカから初めて太平洋を渡った蒸気船は、同社の日本経由香港行のコロラド号だった(1867年)。日本では海運業が未発達であったため、日本の国内航路、日本から清へ向かう航路は太平洋郵船の独占状態となり、「太平洋の覇者」と呼ばれるまでになった。しかしやがて、大隈重信や大久保利通らによる海運政策のなかで三菱が重点的な援助を受けて発展し、激しい賃金値下げ競争を繰り広げる中で、日本に来航していた英米の外国船を駆逐していった。

第三に、太平洋郵船がアメリカからアジアへの海外旅行や世界旅行を推進していたことを明らかにした。商船として貨物を運ぶだけでなく、海外旅行を勧めるなかで、「ガイドブック」の原型に当たるものを発行していた。その中では、乗船にあたっての注意事項だけでなく、各国の通貨、各港までの日数、乗り換えの案内、寄港地の観光案内など、旅行に必要な情報が掲載されていた。

第四に、第三との関連から、1893年にシカゴで開催された世界コロンビア博覧会(万博)に注目し、アメリカにおける「アジア」の文化消費について考察した。世界の文化の縮図ともとらえられ、世界各国の文化や技術が展示された万博を見学することが、海外旅行の代替としてとらえられたことを明らかにした。

第五に、第四との関連で、アメリカにおける国内旅行の発達を明らかにした。アメリカにおける「旅行」はそもそも、保養・リラクゼーション(例えばサラトガ・スプリングス)、自然鑑賞(例えばナイアガラ・フォールズ)、修養・修学(例えば南北戦争の激戦地)を目的として行われていたのが、国内での万博開催(1867-1916年にかけて、フィラデルフィア、シカゴ、サンディエゴなどで12の国際的な博覧会が開催された)をきっかけに、「異文化を見て楽しむ」娯楽が目的に加わった。

六点目として、五点目との関連で、アメリカ内外での「異質な文化を経験するための旅行=観光」事業がどのように展開されたかについても整理した。ヨーロッパでは、Thomas Cookが19世紀半ばにイギリスで国内観光旅行を発展させ、やがて近隣諸国への海外ツアーを組むようになった。アメリカでは、アメリカン・エクスプレスが19

世紀末から 20 世紀初頭にかけて、アメリカ・ヨーロッパ間での観光ツアーを発展させた。急行便・貨物事業から為替事業、トラベラーズチェックへと事業を拡大したアメリカン・エクスプレスは、為替事業促進のために、海外旅行のツアーを組むようになった。

七点目として、太平洋郵船会社が 19 世紀から 20 世紀初頭にかけて刊行した太平洋航路のポスター、アジアへの旅行・世界旅行のパンフレットを収集することで、娯楽対象としての「アジア」がどのように表象されていたか明らかにした。また、同時期にアメリカで開催された世界コロンビア博覧会(万博)に出展された「中国展」「日本展」における「アジア」の受容のされ方と比較しながら、アジアやアジア系移民がもつ「異質さ」の需要は娯楽の分野に限定されたことを論じた。

八点目として、太平洋航路開設により、既存の大西洋航路と接続されることで、蒸気船の定期便によりグローバルに世界の主要都市が結ばれるようになったことを明らかにした。ジュール・ヴェルヌの『80 日間世界一周』(1872 年刊行)や、これに刺激を受けたアメリカの女性ジャーナリストであるネリー・ブライ(Nellie Bly)が新聞社の企画で世界一周旅行に出発し、73 日間で成功したことの意義を論じた。

#### 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計 0 件)

〔学会発表〕(計 4 件)

大井由紀「『異質さの排除と包摂：19 世紀後半のチャイニーズを事例として』大阪大学アメリカ研究会(招聘)大阪大学、2013 年 11 月 15 日

Ooi Yuki "Birthright Citizenship Questioned: 'Chinese Citizens' in the Periphery of Sovereignty, Freedom and Equality in Late Nineteenth Century America" シンポジウム "Interdisciplinary Perspectives for Asia-Pacific Region History and and Prospect" (招聘)大阪大学、2014 年 2 月 15 日

Ooi Yuki "Steamship on the Border between Inclusion and Exclusion: The United States' Exclusion of Chinese Migrant sin the Late 19th Century" USJI Week, US Japan Institute (ワシントン DC、アメリカ合衆国)、2014 年 2 月 15 日

Ooi Yuki "Comment in Response to Prof. Lee's

Lecture" シンポジウム "Transpacific Japanese/ Asian American Studies; Dialogue between Scholars in Japan and the U.S." 京都大学人文科学研究所、京都大学東京オフィス(品川)、2014 年 6 月 30 日

〔図書〕(計 3 件)

大井由紀「第 3 章 移民排斥と出生地主義—理念と主権のあいだ」杉田米行(編)『アメリカ観の変遷(上)』所収、大学教育出版、pp.45-65、2014 年

Ooi Yuki "Chapter 1 Borders of 'American Citizens' Crated in a More Globalized World: The Significance of the Transpacific Steamship Route for Asian Immigration to the United States in the Late 19th Century." In Yoneyuki Sugita (Ed.). *Japan View from Interdisciplinary Perspectives: History and Prospect*, Lexington Books (printing), 2015 年

大井由紀「定期的蒸気船の太平洋航路開設とアジア-アメリカの『接触領域の形成』」杉田米行(編)『アジア太平洋地域の複眼的分析：歴史と展望』所収、明石書店(印刷中)、2015 年

〔産業財産権〕

出願状況(計 0 件)

名称：  
発明者：  
権利者：  
種類：  
番号：  
出願年月日：  
国内外の別：

取得状況(計 0 件)

名称：  
発明者：  
権利者：  
種類：  
番号：  
出願年月日：  
取得年月日：  
国内外の別：

〔その他〕

ホームページ等

#### 6. 研究組織

(1) 研究代表者

大井 由紀(OOI, Yuki)  
南山大学外国語学部准教授  
研究者番号：10551070

(2)研究分担者 ( )

研究者番号：

(3)連携研究者 ( )

研究者番号：